

## 第 250 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 8 年 4 月 23 日（木） 14：30～15：30

場 所：浜田市役所本庁 4 階講堂 AB

出席者：久佐教育長 杉野本委員 倉本委員（欠席） 浅津委員 三浦委員

事務局 佐々木部長 藤井課長 龍河担当課長 山口課長

永田担当課長（代理：岡田係長） 岡田室長 官澤課長

書記：日ノ原係長 津野主事

### 議事

#### 1 教育長報告

#### 2 議題

(1) 令和 8 年度教育委員会学校訪問について（資料 1）

(2) 浜田市指定文化財について（資料 2）

#### 3 部長・課長等報告事項

#### 4 その他

(1) その他

#### 1 教育長報告

久佐教育長

この 4 月に教育長に就任した久佐と申します。引き続きよろしくお願ひいたします。

教育委員方には、3 月の卒業式、新年度の入学式にご出席いただきありがとうございます。子どもたちの成長や学校の様子の変化など、色々なことに気づかれたと思う。

教育は色々な活動を通して行うが、活動そのものに主眼を置く見方もある。しかし、その中で個人の変化や人と人との関係性に注目していくことが教育ではないかと考えている。今年度 1 年間、様々な場面で、そういった活動とともに、人と関係性、人そのものの変化について一緒に着目しながら、成長を支えていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひする。

それでは、資料に沿って主な活動報告をさせていただきます。

① 4 月 3 日（金）防犯ホイッスル・ランドセルカバー贈呈式（交通安全協会ほか）

4 月 3 日にホイッスル・ランドセルカバー贈呈式に出席した。今年度の新入生は市内で 295 名である。防犯ホイッスルについ

ては、浜田ライオンズクラブ様、青少年健全育成推進会議様及び少年補導員連絡員の皆様からいただいている。ランドセルカバーやワッペンについては交通安全協会様からご寄贈いただいている。他にも、防犯ブザーをFM山陰様から、黄色い手帳を山陰中央新報様及び山陰中央テレビ様からいただいている。

たくさんのお見守り等の団体方に、浜田市内で重大事案が起きていない、そういった見守り活動についてのお礼と併せ、浜田幼稚園から2名の子どもも来ていたため、これからは安全に気をつけて生活しましょうという呼びかけを行ったところである。

② 4月12日（日）美作浜田会慰霊祭・総会（岡山県津山市）

続いて4月12日の日曜日に、美作浜田会の慰霊祭と総会に出席した。これは、長州藩との戦いの後、浜田を脱出された藩主の末裔の方々が136年間大切にしてくられた会である。小説等の関係で、浜田城を焼いて逃げたという認識もあるが、学者ではなく住民の方々がきちんと勉強されており、実はお城は焼いていなかったり、鳥取方面や岡山方面に移られ、人材育成が重要だということで学校を建設されたり、馬場を建設されたり、こちらへの反撃を期して色々な準備をされていたということである。特に末裔の方々は学校の先生方が大変多いという話も聞いた。脈々と受け継がれている浜田への愛着と先人への誇りを強く感じさせていただいた。

また、最後の奥方は壽子様という方で、NHKの8K放送でドラマが放映されており、今後地上波でも放送されるということである。浜田の子どもたちに、浜田に住んでいることを外の人から見た誇りにつながる部分ではないかと思っているため、子どもたちにも情報をお伝えいただければと思っている。

③ 4月15日（水）三市三町教育長会総会（～16日：邑南町）

4月15日から16日にかけて、三市三町教育長会総会に出席した。邑南町健康センター元気館での総会の後、翌日にハンザケ自然館を視察した。新しい学芸員がおられ、世界的な研究者ということで、また違った視点から情報提供をいただいた。

併せて、教育事務所からは、管理職に関して浜田教育事務所管内の小学校46校のうち、22パーセントの10校は、小学校の管理職ではなく中学校の管理職がそこに充たっているということや、昨年度と同様、遠方に配置されているため管理職が地元

に戻りにくい状況があるとの説明があった。

また、本来は常勤で勤務していただくべき職員が配置できず、緊急対応の非常勤職員で対応している状況がある。その職員については基本的には授業を行っていただき、本人の了解があれば部活動や校内の分担も行っていただいているが、かなり厳しい状況ということである。

それから、年齢層が若い教職員の増加に伴い、男性も含めて産休育休の取得者が大幅に増えているとのことである。望ましい状況ではあるが、教育現場を支える人材が不足しているため、年度途中の補充者確保が大変困難であるというような話があった。

教育事務所の訪問が5月19日から始まるが、例年と違い、今年度は校長と教頭の両者から、教員組織の活性化ということで、働き方改革について目標として伺うということである。

浜田市教育委員会としては、7月に中学校、10月に小学校の学校訪問を予定しているため、私は5月の教育事務所訪問には同行しない予定としている。

私からの報告は以上である。

## 2 議題

### (1) 令和8年度教育委員会学校訪問について（資料1）

日ノ原係長

令和8年度の教育委員会訪問について、提案させていただく。

訪問対象校については、小学校15校、中学校8校、計23校の全小中学校となる。

実施時期であるが、中学校については7月の初旬から中旬、小学校については10月中旬までの期間で訪問したいと考えている。1校当たりの訪問時間は50分から55分程度を予定している。

訪問者については、今年度は教育部長も参加するため、昨年度より1名増えて8名での実施となる。

訪問内容については、基本的には先に校内視察を行った後にヒアリングというかたちで進めたいと考えているが、2校目以降は授業時数との兼ね合いにより、ヒアリングが先になる学校もあると思われるが、基本的には校内視察、ヒアリングの順で行いたいと思う。

本日も審議いただきたいのは、意見交換のテーマである。参考として昨年度のものを下に、令和7年度以前のを裏面に記載

しているため、今年度のテーマについてご審議いただければと思う。

私からは以上である。

久佐教育長 はじめに、実施時期と訪問者の人数について、このとおり進めさせていただいてもよろしいか。

各委員 全会一致で承認

久佐教育長 では、詳細については事務局から別途連絡させていただく。  
それでは、意見交換のテーマについて、委員方からご意見をいただきたいと思うが、いかがか。

浅津委員 令和6年度、7年度と重複するが、教職員の働き方改革のところは現在すごく変化が大きい時であるため、引き続き聞いてもいいと思う。具体的には保護者の反応や、学校行事への影響など、そういう部分を学校ごとに聞き、どういうふうに取り組まれているかということも共有することも必要であると思うため、その辺りを聞いてみたい。

久佐教育長 ありがとうございます。具体的な実施後の様子も含めてということでもよろしいか。

浅津委員 はい。

久佐教育長 その他はいかがか。

杉野本委員 いじめや問題行動、不登校の現状と取組については、ここ数年継続して聞かせていただいている。やはりまだ大きな課題が残っているため、この辺りの状況を今年も聞かせていただきたいと思う。  
また、校内フリースクールの設置校も増えるため、設置される場所については、その様子も含めて対応の様子を聞かせていただけると嬉しい。  
それから、昨年度からAIドリルについて各学校で取り組んでいただき、かなり活用が進んでいる状況を聞いているが、一方で、学校によって格差が生じているのではないかとということも聞いているため、AIドリルの活用状況を含めて、学力向上に向けての取組などの話を聞かせていただきたい。

久佐教育長 はい。AIドリルの活用状況や学力向上の取組も含めてということである。

三浦委員 先ほどの浅津委員の話に出てきた働き方改革について、保護者の反応ということをおっしゃっていたが、学校が保護者に対してどのような説明されているのかを聞いてみたい。

久佐教育長	<p>今お話をいただいた三つのうち、1点は教職員の働き方改革の取組について具体的に保護者へどのように説明され、保護者の反応がどうであるか。また、進められる中での学校教育活動への影響がどうかということ。2点目は、いじめ等の問題行動、不登校についての現状と取組、併せてその対策としての校内フリースクールの現状。3点目は、AIドリルの活用状況が学力の中でどのような効果があるのかということであったと思う。</p> <p>今委員方から出していただいた三つをテーマとして実施させていただくということによろしいか。</p>
各委員	全会一致で承認

(2) 浜田市指定文化財について (資料2)

官澤課長	<p>去る3月26日に、文化振興課から浜田市指定文化財について諮問している。3月30日付けで市の文化財審議会から答申があった。</p> <p>対象文化財は有形民俗文化財、波佐の諸職用具686点、附8点で、文化財に指定することは適当であるとの答申をいただいているため報告する。</p> <p>答申の理由は以下にあるとおり、波佐の諸職用具は、江戸時代以降の波佐地域の生業基盤であった、たたら製鉄などの諸職に関する用具類を、住民の自発的な意志によって網羅的に収集し、整理したものである。鉄穴流し用具等、様々なもので質量ともによく備わっており、波佐地域の生産生活の特色を示すものとして重要である。今後も保存継承されるべきものであるという旨の答申をいただいている。概要については裏面及び添付資料に記載しているため、ご確認いただきたい。</p> <p>この答申をもって、本件について浜田市の指定文化財として、指定についてご審議いただければと思う。</p>
久佐教育長	答申に基づいて資料が出ているが、ご質問等があるか。
各委員	特になし。
久佐教育長	諮問の内容については事前にご審議いただいていると伺っているため、ご質問がなければ、指定文化財として指定することをご了承いただけるか。
各委員	全会一致で承認

3 部長・課長等報告事項

佐々木部長	令和8年3月浜田市議会定例会議議決結果等一覧 (資料3)
-------	------------------------------

資料3に基づいて、令和8年3月市議会定例会について報告させていただきます。

資料3の1ページ下段に請願という項目があり、2ページにわたって請願一覧が掲載されている。教育委員会関係では、1ページ最下段の請願第77号から2ページ目の4項目の請願第81号までの5件が提出されている。

採択の結果については、資料の右端に記載しているが、請願第77号と2ページ目の請願第78号が採択されている。今回は、この2件について説明させていただきます。

請願書を添付しているため、ご確認いただきたい。請願第77号は、令和7年12月議会の定例会で採択された案件の進捗状況を報告するよう求める請願である。教育委員会関係では、資料の3ページから4ページにかけて、給食費軽減（第34号）からいじめ防止（第49号）までの11件が12月議会で採択されており、そのうち8件について、この3か月間で動きがあったものを教育委員会として報告させていただいている。

今後も、進捗状況については今回の請願が採択されたということで、動きがあったものについては定期的に議会に報告するという流れになっていく。

続いて請願第78号は、教育・スポーツ施設の設置、改廃及び機能転用に関する適正な意思決定手続きの確保を求める請願である。5ページに請願書を添付しているため、ご確認いただきたい。請願の趣旨の一番後段の部分になるが、教育・スポーツ施設の改廃及び機能転用に関する意思決定手続きの適正性が確保されるよう、執行部に対し、必要な措置を講じるよう議会として働きかけることを求めるという内容である。

具体的な内容は、請願の理由の後半部分、6ページに記載されている。6ページの2行目、しかしこの臨時会は7分間で終了しており、事前に報告書に事実ではない内容が含まれていることや、コンサルと市の職員が納品日について偽装していることについて通報があったにもかかわらず、通報に関する事実確認や実質的な審議が行われた記録がないということで、主にサン・ビレッジ浜田のアイススケート場の機能転用に関する経緯について、疑義を唱えられたものである。本件については裁判等もあるため、説明等については、そういった経過を踏まえながら対応を検討していきたいと思う。

請願についての報告は以上である。

令和8年6月定例会議日程（案）（資料4）

続いて資料4だが、令和8年6月議会定例会の日程が議会から示されている。5月26日に文教厚生委員会が開かれ、6月4日に全員協議会が開かれる。定例会は6月18日にスタートし、7月3日までの日程となっている。詳細な日程については資料のとおりである。

報告は以上である。

ただいまの件について、ご質問やご意見があるか。

特になし。

久佐教育長  
各委員

藤井課長

行事等予定表（資料5）

資料5をご覧いただきたい。4月23日から5月31日までの行事等予定表である。

委員方にご出席をお願いしたい行事としては、5月21日木曜日の浜田市小学校陸上競技大会である。本日お手元に案内状を置かせていただいているため、ご都合のつく委員方にはぜひご出席をお願いします。

5月25日月曜日は、次回の教育委員会定例会である。場所は中央図書館となり、16時からの開催を予定しているため、よろしくをお願いします。

説明は以上である。

行事予定について、ご意見があるか。

特になし。

久佐教育長  
各委員

龍河担当課長

浜田幼稚園園児数一覧（資料6）

資料6をご覧いただきたい。浜田幼稚園の園児数一覧について報告をさせていただく。

令和8年度は3歳児2名、4歳児5名、5歳児10名、合計17名でスタートしている。4歳児と5歳児は混合学級となっている。5歳児に1名、特別な配慮が必要な園児がいるため、サポート職員を配置している。また、今年度は新規採用の職員を2名配置している。

続いて、浜田市幼児通級教室の利用状況である。令和8年度は5歳児7名の利用からスタートしている。参考までに、令和

久佐教育長  
各委員

7年度に利用された21名のうち、5歳児8名が終了となっているが、このうち3名については、保護者の希望により小学校の通級へ情報提供させていただいている。

説明は以上である。

ただいまの説明について、ご質問等があるか。

特になし。

山口課長

令和8年度学校職員名簿（資料7）

資料7から10について一括して説明させていただく。

資料7は令和8年度の学校職員名簿であるため、ご確認いただきたい。

令和8年度学校別児童生徒数一覧表（資料8）

続いて資料8は、今年度4月1日現在の小中学校の児童生徒数である。最終的には5月1日で確定する。新1年生は295名で、初めて300名を切ったという状況である。

裏面をご覧ください、3番として全体数を記載しているが、小学校では通常学級で103名減少し、特別支援学級では5名増となっており、全体で前年度より98名減っている。一方で、特別支援学級の弱視、自閉・情緒学級の新設があるため、学級数は4クラス増となっている。中学校は通常学級で46名、特別支援学級で1名の減少、全体で47名の減となっている。小中学校全体では前年度より145名減となっている状況である。今後も出生数の減少傾向が続くため、児童生徒数も減少していく見込みである。

令和7年度市内中学校卒業生（令和8年3月卒業）の進学状況について（資料9）

資料9は、令和7年度末卒業生の進学状況一覧である。令和7年度の卒業生は423名で、通信制等も含め高等学校への進学は408名で約96パーセント、特別支援学校高等部へは9名である。その他として3名いるが、この3名は進路未決定とご理解いただきたい。このうち1名は病気のため現在加療中であり、体調回復後に通信制等への入学を検討される。

今年度の特徴としては、市内の公立高校への進学率が初めて50パーセントを切ったことである。今回、市内3校への進学は、

全日制で43パーセントに留まった。一方、県内の私立高校への進学は全体で23パーセント、約100名が進学しており、石見智翠館、明誠、益田東でそれぞれ昨年度より5名以上増加している。一番の理由としては、高等学校の授業料の無償化の影響があるかと思う。あとは、通学バス等のこともあり、総合的に私立の方に流れたと思われる。

今年度、智翠館高校に不登校生徒の学び直しに主眼を置いたアスライズコースが新設された。そういった学科の新設により、今まで邇摩高校等に進学していた生徒が智翠館高校に進路を変更したものと思われる。

また、今年の特徴として、江津工業高校へ32人進学している。一部、建築を希望したが機械の方に移った生徒もいるが、今年は江津工業高校への進学希望が非常に多い傾向が見られ、特に電気と建築希望者が多くなっている。今後もこうした状況を見ながら確認していきたいと思う。

浜田市内県立高校寄宿舎の入寮状況について（資料10）

資料10は、浜田市が令和6年度から設置している県立高校共同寄宿舎の入寮状況である。今年度は、浜田市が設置した共同寄宿舎への入寮はない。

浜田高校男子寮の状況について、県立寄宿舎の定員は52名、浜田市の共同寄宿舎の定員は32名で、全体で84名だが、今年度入寮しているのは合わせて42名である。1年生は14名入寮しているが、県立寄宿舎の方に優先的に入寮するため、14名全員が県立寄宿舎に入寮している。

浜田高校の女子寮については、令和7年度から市内3校の女子が入寮できるようになり、今年度は水産高校の1名が入寮している。今回、久々に市内の女子生徒が浜田高校の女子寮に入寮している。女子寮全体では36名の定員に対し11名の入寮となっている。

浜田水産高校には男子寮のみ設置しているが、定員42名に対して37名の入寮となっている。水産高校は非常に定員割れが厳しい状況であるが、入寮者はほぼ県外から来ている生徒であり、満寮に近い状況である。

説明は以上である。

資料7から10までの説明について、ご質問等があるか。

久佐教育長

浅津委員	<p>邇摩高校から智翠館高校のアスライズコースに流れたという話があったが、こういった特色がありそういう動きになったのか。</p>
山口課長	<p>邇摩高校は教育課程が柔軟なところもあり、勉強だけではないところがあるため、浜田からそちらに進む生徒もいる。今回の智翠館高校のアスライズコースは、不登校の学び直しの視点で、高校でしっかり学び直しをして、次の就職、進学に向かえるコースということで、勉強だけでなく、教育課程内でボランティアを含めた地域活動にも参加する、特色ある教育課程を組めるような学科として新設されている。そういったところで、進路の選択肢の一つとして増えたのではないかと考えられる。学科の詳細な部分は分析するが、今年4月に浜田市から智翠館高校へ進学した生徒の実績は過去最高だと思われる。</p>
浅津委員 久佐教育長 各委員	<p>承知した。 その他にご質問等はあるか。 特になし。</p>
永田担当課長 (代理：岡田係長)	<p>令和8年度まちづくりセンター職員名簿（資料11） 資料11をご覧いただきたい。令和8年度まちづくりセンター職員名簿である。こちらは4月1日現在の名簿で、浜田から三隅の5地域26センターの職員名簿となっている。右下に記載しているが、太字の6名が今回新たに採用した職員で、合計で95名の職員配置となっている。 説明は以上である。</p>
久佐教育長 各委員	<p>ただいまの件について、ご質問等があるか。 特になし。</p>
岡田室長	<p>令和7年度学力育成総合対策事業実績報告書（資料12） 本年度、10年ぶりに教育委員会に勤務することとなった岡田と申します。よろしくお願いたします。 まず、学力育成総合対策事業について説明させていただく。目次の次のページに本事業のイメージ図を掲載している。浜田市では、学力を限られた時間で多くの情報の中から課題解決に必要な情報を収集して考え、根拠を明確にして筋道を立てて、文章や式、図、音声言語などで表現する力であると捉えている。この学力を育成するためには、日々の授業改善と学習集団づく</p>

りが重要である。そこで、これまで教員の授業力向上と学級経営の充実に焦点を当てて様々な事業を展開してきた。

報告書の1ページから23ページに、全国学力学習状況調査の結果を掲載している。本市は、島根県の平均正答率を上回ることを目標に取り組んできた。

主な分析結果だが、小学校については、国語、算数ともに県平均との差が解消されてきている。特に5年生段階と比較して、県平均と同程度まで学力が向上しており、授業改善の成果が認められていると考えている。中学校については、数学において県平均との差が、前年度のマイナス4.0ポイントからさらに拡大し、マイナス6ポイントとなっており、全国平均との差も非常に大きい。国語も県平均を3ポイント下回る状況が続いている。

また、全問正答者の割合は県と同程度だが、高正答率層が少なく、低正答率層を中正答率層へ引き上げることが急務であると考えている。

続いて、教科別の成果と課題については、3ページから19ページ辺りに記載している。国語については、小学校では記述式問題が劇的に改善しており、7ページの表を見ると、令和6年度はマイナス5.3ポイントであったものが、令和7年度はプラス1.7ポイントまで上がっている。また、児童の粘り強い取組によって、無回答率が低下している。

中学校では、情報の意図を捉えることに課題があり、特に、他者の意図を説明する問題の正答率が低いことがわかる。11ページをご覧くださいとわかると思う。こうした課題を解決するためにも、要約学習を推進し、多様な文章から情報を整理し、根拠を明確にして表現する力を育成する必要があると考えている。

算数、数学についてだが、小学校算数では、17ページをご覧くださいと、算数の授業が社会で役立つと考える人の割合が87.7パーセントであり、授業改善が進んでいることが伺える。ただし、17ページから18ページにかけて課題として挙げているが、異分母分数の計算の意味を言葉で表すことを求められる問題では、正答率が低く無回答率が高い結果になっている。

中学校数学では、図形及び関数領域で課題が顕著である。記述式問題の無回答率が高いという状況がある。今後、算数、数

学の研究指定校等を活用しながら、アドバイザーの前田一誠教授が提唱している「隠す、たくさんやる、ほめる」等を継続し、数や言葉での確に表現できるところを目指していきたいと考えている。

続いて 19 ページをご覧ください。理科についてだが、中学校において仮説に基づく実験結果の予想に関する設問で県平均を上回っている。課題としては、小学校、中学校ともに観察実験の操作技能や結果、考察を導き出す記述力に課題がある。今後、理科好きな児童生徒を増やしていくために、驚きや疑問を大切にした仮説検証型の授業を工夫していく必要があると考えている。

続いて、20 ページから 26 ページには児童生徒及び学校質問調査について記載している。生活習慣や意識調査からも重要な示唆が得られているのではないかと思う。

自己肯定感について、「自分には良いところがある」とする小学校の肯定率が 82.2 パーセントと大幅に改善している。

家庭学習については、小学校で 1 日 1 時間以上勉強する割合が 61.6 パーセント、県平均プラス 9.2 パーセントと急増しているが、中学校では 41.8 パーセントに留まっており、中高発達段階に応じた学習習慣の確立が課題である。

ICT 活用についてだが、授業での ICT 活用について、教員側の意識としては活用していると評価しているが、児童生徒側の実感として乖離があるという状況があるため、その辺りの指導については見直していく必要があると考えている。

27 ページから 72 ページには、重点施策の主なものを掲載している。本事業の根幹となっているのは授業改善プラン「子どもの声でつくる授業」であり、これを継続している。それから、要約学習に取り組んでおり、読解力育成推進校という名前で要約学習の研究指定校を指定しているため、成果を市内全体に広げていきたいと考えている。

協調学習については、知識構成型ジグソー法というやり方で実施している。実施回数を大幅に増加しているため、継続していきたいと考えている。

AI ドリルの活用については、週間アクティブユーザー率が小学校で 65.9 パーセントまで上昇している。中学校での活用促進を今後取り組んでいく必要があると考えている。

学校図書館活用教育も行い、探究的な学習に取り組んでいるところである。

総括として、73 ページに記載しているため、ご覧いただきたい。令和7年度には、四角で囲んである5点を重点項目として取り組んできた。その結果、つけたい力をより具体化した授業が増えてきている。また、ICT 機器を効果的に活用した授業も増えており、要約学習の有効な活用が広がっている。こうしたことを通じて、教師の説明する場面が少なくなり、子どもたちが語る場面が増えてきたと考えている。授業づくりシートやICT、思考ツールを活用した協議は定着してきているが、子どもたちを具体的にたくさん褒めていくという点が課題としてあるため、授業力の向上という点も含めて取り組んでいきたいと思っている。

各学校における授業づくりの取組は進んできているが、子どもの具体的な姿が想定されていないことが散見されている。より具体的な姿を想定し、教師の講じる手立てについてもより具体的なものを設定していくということが求められていると思う。それにより、浜田市の子どもたちが、多くの情報の中から情報収集し、整理し、考えをまとめ、表現するという課題を解決していきたいと思う。

また、令和7年度の取組として、ICT 活用、思考ツール、AIドリル事業、要約学習などについては、成果が上がっているということを聞いている。こうしたシステムとしてできあがっているものを活用して学力向上につなげていくことができればいいのではないかと考えているため、今後も学校と協力しながら事業を進めていきたいと思う。

説明は以上である。

#### 第1回(4月)市校長会資料(資料13)

資料13は、校長会で説明させていただいた内容である。項目のみ説明させていただきたいと思う。

今年度の学力育成総合対策事業についての説明、指導主事による訪問指導について、浜田市小中連携教育について、AIドリルと要約学習について説明させていただき、最後に、全国学力学習状況調査についての説明をし、校長会の時点ではまだ始まっていなかったため、最後の確認ということで、改めて接続テ

久佐教育長  
杉野本委員

ストや緊急時の対応についての確認をした。

以上である。

ただいまの説明について、ご質問等があればお願いします。

昨年度まで前田先生に来ていただき、算数、数学の授業について指導をいただいていた。今回、指定校が変わったということだが、前田先生が引き続き指導されるか。

岡田室長  
杉野本委員

そうである。

大変心強い。みるみる成果が出ているように感じるため。この取組がどんどん広がっていくといいと思う。

浅津委員

小学校6年生が国語、算数ともに正答率の県平均との差が縮まったのは素晴らしいと思う。やはりAIドリルの効果が出ているのかなと思った。中学校でもぜひ活用率が上がっていくといいと思う。

岡田室長

ありがとうございます。

今後、タブレットの更新があるが、中学校の活用率が上がらない理由として色々なことが考えられる。浜田市教育委員会ではタブレットの持ち帰りをしてくださいとお願いしているが、破損等が懸念されるため、なかなか持ち帰らせることができないという話も聞く。その辺りの取組や、自分のタブレットの活用を深めていくための手立てについても探っていく必要があると考えている。

久佐教育長  
各委員

その他はいかがか。

特になし。

官澤課長

令和7年度「浜田市文化財保存活用地域計画」事業実績概要（資料14）

資料14をご覧いただきたい。浜田市文化財保存活用地域計画に基づいて行った令和7年度の事業成果について一部抜粋しているものである。

資料の左上に方向性1等と記載しているが、文化財保護法の求める、例えば保存、調査や活用に関する事項としてカテゴリー別に分けて取り組んでいる。一部抜粋して説明をさせていただく。

中ほどの1-(1)-③の文化財個別台帳の作成、拡充の項目だが、令和6年度まではバラバラであった台帳を、令和7年度から同じフォーマットにより台帳化したということで、令和7年度の

実績が 298 件となっている。こちらは目標値が 200 件であったため、大幅な成果があったということである。このように、令和 7 年度末の数値の後のプラス何件というのが、令和 7 年度の実績である。

3 ページの 4-(2)-②、浜田城・城下町総合調査事業については、新聞にも掲載されたが、令和 7 年度に濱田町中屋敷数年貢納帳というものを職員が取りまとめ、市民にお披露目したという実績がある。

令和 7 年度「浜田市の歴史読本 ふるさと浜田の歩み」の活用について（資料 15）

続いて資料 15 である。こちらは、浜田市の歴史読本ふるさと浜田の歩みの活用についてということで、毎年学校にアンケートを実施しているものである。小学校 6 年生を対象にこの本を配布しており、15 校にアンケートを実施したところ、活用いただいた学校は 11 校であった。

色々と活用に関して良いところや不便なところを書いていた。特に 3 ページに記載しているが、PDF 化をして活用が促進できるかというところでアンケートを取ったが、活用頻度は変わらないという意見も結構多く、色々なご意見があると感じたところである。

説明は以上である。

ただいまの件について、ご質問等があるか。

特になし。

久佐教育長  
各委員

#### 4 その他

##### (1) その他

久佐教育長  
日ノ原係長  
久佐教育長

事務局からその他何かあるか。

特になし。

私から 1 件、報告をさせていただきたいと思う。先日郵送させていただいた、市民からの請願についてである。市民の方から委員方へ請願が出されたため、先日委員方へ郵送させていただいたものである。内容についてはお目通しいただいているのではないかと思う。

3 月の定例会でも説明させていただいたが、教育委員会では現在、提出された請願の取扱いについての取り決めがないため、今

各委員 久佐教育長	のところで、委員方に提出された請願については、内容を委員方にご確認いただくという対応をしている。 このことについて何かご意見等があるか。 特になし。 特にないようであれば、本件については以上とさせていただきます。 その他のところで、委員方からご報告や質問があればお願いします。
各委員	特になし。

次回定例会日程

定例会 5月25日（月）16時00分から

浜田市立中央図書館2階多目的ホール

次々回定例会日程

定例会 6月17日（水）14時30分から

浜田市立中央図書館2階多目的ホール

15：30 終了